



1 「信長公と岐阜のつながり再発見事業」進行中です

岐阜女子大学と連携して実施する「信長公と岐阜のつながり再発見事業」において、市内信長公ゆかりのスポットを学生の皆さんが実際に見学しました。



この事業は、「信長公と岐阜のつながり」をテーマに講義・フィールドワーク・取材などを通して、信長公と岐阜のつながりを再発見していきます。その成果を小冊子として発行し、「信長公ゆかりのまち・岐阜市」を発信するブランドツールとして活用していきます。どんな小冊子が出来上がるか、是非、楽しみにしてください。

3 織田信長公に関連する観光土産品の報告及び試食会が開かれました

昨年度、織田信長公に関連する観光土産品を開発及び改良する事業者を支援する事業を実施しました。今回6者による8商品が完成し、報告会及び試食を行いました。



店頭に並び販売が行われておりますので、是非、味わってみてはいかがでしょうか。

5 「ケータイ国盗り合戦」“織田信長 岐阜市コース”開催します

信長公450プロジェクトのイベントとして、株式会社マピオンとタイアップし、モバイル端末の位置情報機能を利用したサービス「ケータイ国盗り合戦」において、市内の信長公ゆかりのスポットをめぐるスタンプラリー“織田信長 岐阜市コース”の特別開催が決定しました。

期間は、平成28年7月12日(火)15時から10月25日(火)15時までの期間限定で、全国からユーザーの誘客を図ります。

◆スポットを攻略するとゲーム内の限定デジタルアイテムをゲットすることができます。
詳細は信長公450プロジェクトホームページをご覧ください。HP:<http://www.nobunaga450.jp/>

2 450PR ポスター撮影会を開催しました

去る5月12日(信長公の誕生日)に、みんなの森ぎふメディアコスモスで450PRポスターの撮影会を開催しました。このイベントは、多くの市民の皆さんに信長公450プロジェクトへの参画を推進することを目的とし開催されたものです。

当日は、小さなお子さんから大人の方まで幅広い皆さんにご参加いただき、どなたも戦国武将の兜を身に着け、信長公さながらの凛々しい顔つきで撮影に臨んでいました。

今回撮影した皆さんの顔写真は、「信長公450プロジェクトPRポスター」として加工し、当プロジェクトの公式ホームページトップに日替わりで掲載していきます。今後も、不定期で市内各所においてゲリラ撮影会を実施していく予定です。



4 大河ドラマ「真田丸」全国巡回展開催しました

大河ドラマ『真田丸』全国巡回展が「みんなの森 ぎふメディアコスモス」1階ドキドキテラスで開催されました。



大河ドラマ『真田丸』の魅力やドラマに登場している時代背景を映像やパネルなどで紹介するとともに、ドラマで使われた衣装や小道具、出演者のサイン色紙などを展示し、3,700人を超す来場者で賑わいました。

ケータイ[®]
国盗り合戦



2017年 織田信長公岐阜入城・岐阜命名 450年記念 協賛事業・冠事業を募集しています

岐阜市信長公 450 プロジェクト実行委員会では、2017年の織田信長公岐阜入城・岐阜命名 450年の記念の年に実施する周年事業と一緒に盛り上げていただくため、協賛事業及び冠事業を募集しています。

●協賛事業、冠事業とは

- ・協賛事業……周年事業に賛同して実施する信長公と関連する事業
- ・冠事業……岐阜市のPRに資する事業
(信長公との関連性がなくてもよい)

●対象となる事業は

周年期間内に行い、広く一般の参加者を対象とし、原則岐阜市内が開催場所であるもの

周年期間：平成 29 年 1 月 1 日～12 月 31 日

×対象外：

- ・公の秩序又は善良の風俗に反するおそれがあるもの
- ・特定の宗教又は政党の活動、宣伝等に関連するもの

●申請方法

※申請にあたっては、協賛事業・冠事業取扱要領をご確認ください。

申請者は、専用の申請書に①～③の書類等を添えて、郵送又は持参のいずれかの方法で下記まで申請してください。

- ①定款、規約その他これらに類する書類の写し、
- ②事業計画書、
- ③構成員が分かる書類

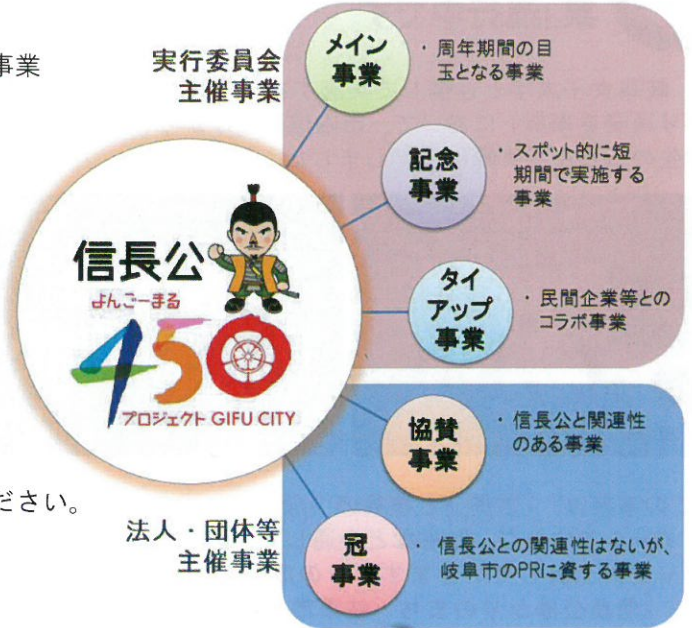
●協賛事業、冠事業の承認を受けると

■事業名に、次の名称を付けていただきます。

協賛事業の場合 「織田信長公岐阜入城・岐阜命名 450年記念 協賛事業」

冠事業の場合 「織田信長公岐阜入城・岐阜命名 450年記念 冠事業」

■岐阜市信長公 450 プロジェクト実行委員会において、周年事業の一つとして、ホームページ、公式ガイドブックなどに掲載します。



H28年8月までに申請された事業は、実行委員会作成の公式ガイドブックに掲載する予定です。

今後のイベント予定

7月6日(水)～	信長評定～土産品モニター会議～	市立岐阜女子短期大学
10月1日(土)	周年事業ガイドブック発行	
10月7日(金)～13日(木)	(仮称) 岐阜と信長観光物産展	都内
10月10日(月・祝)	信長学フォーラム in 東京	都内

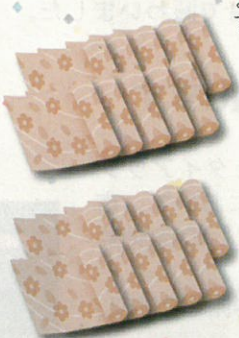
信長公ってこんな人

コラム初回は、『信長公記』に紹介されている信長公の人々の心遣いが感じられるお話です。

山中というところ(現在の関ヶ原町山中)の街道の道端に障がいを持った人が雨露に打たれ乞食をしていたそうです。

岐阜に住む信長公は、京への往復の道ので度々この乞食を目にし、不憫に感じていたそう。土地の者に仔細を尋ねたところ、生まれつき障がいがあったため(働くこともできず)乞食をして暮らしており、人々は「山中の猿」と呼んでいるとのこと。

事情を知った信長公は、後日、京への上洛の途中、忙しい身にも関わらず、このことを思い出し、供の荷物から木綿二十反を取り出して「山中の猿」に与えたとし、山中の土地の者に伝えたといわれます。



「反物の半分をもつて近くの家に小屋をこしらえて飢え死にしないように目をかけてやってほしい。また、毎年、麦と米を年一度ずつこの者に与えてくれれば自分は本当にうれしく思う。」

信長公の優しい一面が感じられるお話です。